

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立中津小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安心・安全な教育】

前中期目標とした「規範意識」「生命の尊重」「仲間づくり」について、いずれも目標を達成した。また、令和7年度全市共通目標である「いじめの解消」「規範意識」「暴力行為」「不登校」について、いずれも目標を達成した。

それらの目標達成の主因は、子どもの自己肯定感の高まりを重視した「チーム中津」として地域・教職員それぞれの持ち味を生かして教育活動を行ってきた成果と言える。

自己肯定感は、子どもが達成感と所属感を繰り返し味わうことで高まるととらえ、その共通理解のもと、互いの頑張りやよさを認め合う活動、自分の思いをよりよく伝える方法を考える活動などを工夫し、継続して取り組んだ。また、生活指導、いじめ対策の定期的な会合においても自己肯定感に関連した情報共有を行い、全教職員による指導を継続した。それらの結果、互いを支え認め合える集団が育てることができた。

自己肯定感の高まりを重視し、互いを支え認め合える集団の育成を継続していくことが、安心・安全な教育を推進する要諦と考えている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

前中期目標である「わかる楽しさを味わえる授業」「深め広げる話し合い活動」「生活習慣」「運動志向」について、いずれも目標を達成した。令和7年度全市共通目標である経年調査における相対的な数値については目標達成できなかったが、課題とした運動は記録を更新できた。

それら目標達成の主因は、子どもの主体性を重視した指導の成果と言える。令和7年度では、子どもの実態を踏まえた授業改善を推進するために、ICTを効果的に活用した指導法の研究、一人一授業（全教員が公開授業を実施）の取り組み等を行った。また、子どもの保健指導、給食指導、体育指導等に注力し、子どもの健康に対する意識を高めた。それらの結果、子どもの学力向上への意欲を高め、健康に関する基本的な生活習慣、体力を向上させることができた。

今後も全教育活動において主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を最大限行う。とともに、保健指導、給食指導、体育指導等をさらに工夫し充実させていく。これらを通して、児童の学力・体力をより一層高めていく。

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの活用について、本校では大阪市の方針に基づき段階的に導入し、その有効活用を図ってきている。全学級において大型モニターを使用したデジタル教材の活用や一人一台の学習者用端末の導入を円滑に推進した。また、令和7年度より、子どもが毎日学習者用端末を持ち帰るシステムを構築し、授業と家庭学習で活用できるようにした。今後も、ICTの活用に積極的に取り組み、子どもの学習を充実させることが課題である。

学校司書の配置により読書環境の充実を図ることで、読書活動の意識を高め続けてきた。

これからも「教育DXの推進」「働き方改革」「読書環境の充実」を中心に教育環境を充実させる。「教育DXの推進」では「心の天気」入力に加え、教科領域での活用を工夫改善し、学習者用端末をより活用していく。「働き方改革」は、地域・保護者の理解や教職員の意識が高まり状況の改善が見られた。「読書環境の充実」については、更なる改善を図り、児童の読書活動に対する意識を向上させる。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.0%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 学調 72.5%、校内 72.2%)
- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88.0%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 学調 90%、校内 86%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（1）

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査 算数における平均正答率の対全国比を 1.00 以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 学調対全国比 算数 1.10)
- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 学調 75%、R7 校内調査 86%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（2）

- 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 90%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 全運調 84.6%)
- 令和 11 年度の小学校経年調査及び校内調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合 90%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 校内 朝食 93% 就寝 85%、起床 89%)
(R7 経年 朝食 94.6% 就寝及び起床 83.7%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校経年調査及び校内調査の「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 経年 82.7%、R7 校内調査 —)
- 本校における時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
(R7 0人)
- 令和 11 年度末の小学校経年調査及び校内調査の「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 経年 71.7%、R7 校内調査 74%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 (R7 経年 82.1%)
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。 (R7 経年 83%)

学校の年度目標

- ① 校内調査（児童）における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。 (R7 校内 72.2%)
- ② 校内調査（児童）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。 (R7 校内 86%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（1）

- 小学校学力調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **0.1** ポイント向上させる (R7 経年 3年→1.15 4年→1.29 5年→1.04 6年→1.10)
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。 (R7 経年 83.5%)

学校の年度目標

- ① 校内調査（児童）における「学ぶことが楽しい。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 (R7 校内 84%)
- ② 校内調査（児童）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 87%以上にする。 (R7 校内 86%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（2）

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。 (R7 経年 86.4%)
- 小学校経年調査及び校内調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合 90%以上（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。
(R7 校内 朝食 93% 就寝 85%、起床 89%))
(R7 経年 朝食 94.6% 就寝及び起床 83.7%))

学校の年度目標

- ① 校内調査（保護者）における「家庭では早寝 早起き 朝ごはんの習慣が身についている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 83%以上にする。 (R7 校内 保護者 82.4%)
- ② 校内調査（児童）における「手洗い・うがいをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上にする。 (R7 校内 93%)
- ③ 校内調査（児童）における「苦手なものでも食べるようにしている」に対して、肯定に回答する児童の割合を 92%以上にする。 (R7 校内 91%)
- ④ 校内調査（児童）における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 87%以上にする。 (R7 校内 87%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査におけるにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
(R7 経年 82.7%)
- 本校における時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
(R7 0人)
- 小学校経年調査及び校内調査の「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
(R7 経年 71.7%、R7 校内調査 74%)

学校の年度目標

- ① 校内調査（児童）におけるにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
(R7 校内 —)
- ② 本校における時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
(R7 0人)
- ③ 校内調査（児童）における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
(R7 経年 71.7%、R7 校内調査 74%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立中津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【安全・安心な教育の推進】 年度目標	達成状況
<p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 (R7 経年 82.1%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。 (R7 経年 83%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 校内調査（児童）における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。 (R7 校内 72.2%)</p> <p>② 校内調査（児童）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。 (R7 校内 86%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 いじめや暴力行為・不登校傾向が見られる児童の実態を把握し、学校内外の連携をしながら課題解決に向けた取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 ・月一回以上児童理解全体会を開き、全職員で児童の様子を共通理解する。さらに必要に応じ、いじめ対策委員会や、児童理解のためのネットワークを開き、児童の実態や生活面に関する課題について意見交換をし、全教職員で対策・実践を進める。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 一人ひとり児童が力を発揮し、その良さを認め合える集団づくりをめざす。</p> <hr/> <p>指標 ・学級目標の実現に向け、学校生活において力を発揮している児童の姿を教師や児童同士が、伝えあい、認め合う機会を週に2回以上確保する。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>取組内容① 取組内容②</p>
<p>今後の改善点</p>

取組内容①
取組内容②

大阪市立中津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（1） 年度目標	達成 状況
<p>○ <u>小学校学力調査における</u>、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる (R7 経年 3年→1.15 4年→1.29 5年→1.04 6年→1.10)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、定期的に回答する児童の割合を 84%以上にする。 (R7 経年 83.5%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 校内調査（児童）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 87%以上にする。(R7 校内 86%)</p> <p>② 校内調査（児童）における「学ぶことが楽しい。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R7 校内 84%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 自分の考えを深めたり広げたりするための話し合い活動を取り入れた授業をする。</p> <p>指標 ・自分の考えを深めたり広げたりするための効果的な話し合い活動についての研究・研修を行い、教員の指導力向上を目指す。 ・算数科における指導案検討会6回、研究授業6回、一人一授業率90%以上</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 学級担任、各学年付担当、支援学級担任、通級担当、サポーターが連携して、一人ひとりに応じた指導を最大限実施する。</p> <p>指標 ・校内調査（児童）の「学ぶことが楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 (R7 校内調査 84%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① 取組内容②
今後の改善点
取組内容① 取組内容②

大阪市立中津小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上】（2） 年度目標	達成 状況
<p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 (R7 経年 86.4%)</p> <p>○ 小学校経年調査及び校内調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合 <u>90%以上</u>（大阪市教育振興基本計画目標通り）にする。 (R7 校内 朝食 93% 就寝 85%、起床 89%) (R7 経年 朝食 94.6% 就寝及び起床 83.7%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 校内調査（保護者）における「家庭では早寝 早起き 朝ごはんの習慣が身についている。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を83%以上にする。 (R7 校内 保護者 82.4%)</p> <p>② 校内調査（児童）における「手洗い・うがいをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>94%以上</u>にする。 (R7 校内 93%)</p> <p>③ 校内調査（児童）における「苦手なものでも食べるようにしている」に対して肯定に回答する児童の割合を <u>92%以上</u>にする。 (R7 校内 91%)</p> <p>④ 校内調査（児童）における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」と回答する児童の割合を87%以上にする。 (R7 校内 87%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状 況
<p>取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】 保護者の「早寝・早起き」「朝ごはん」についての意識を高める</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標 ・保健だよりを活用した保健指導を月1回実施する。</p>	

取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 児童の「手洗い・うがい」についての意識を高める。	
指標 ・定期検診時等における養護教諭による保健指導を年間各学級 1 回以上行う。	
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 食育を充実し、食と健康についての意識を向上させる。	
指標 ・給食だよりを活用した給食指導を月 1 回実施する。	
取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 体育指導を充実し、運動と健康についての意識を向上させる。	
指標 ・昨年度と比べ体育科授業を単学級指導に改善する。 ・運動場、体育館の体育倉庫の整備を年間 3 回以上行う。 ・児童の運動に対する関心を高めるため、「新体力テスト」「長なわ週間」「かけ足チャレンジ」を実施する。	

大阪市立中津小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【学びを支える教育環境の充実】	年度目標	達成状況
○ 小学校学力経年調査におけるにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 (R7 経年 82.7%)		
○ 本校における時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。 (R7 0人)		
○ 小学校経年調査及び校内調査の「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 (R7 経年 71.7%、R7 校内調査 74%)		
学校の年度目標		
① 校内調査（児童）におけるにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 (R7 校内 —)		進捗状況
② 本校における時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。 (R7 0人)		
③ 校内調査（児童）における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 (R7 校内 74%)		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 デジタルドリル、スクールライフノート（「心の天気」「連絡帳」）等を活用し、授業以外での学習者用端末の使用を推進する。		
指標 ・学期に 1 回、学習者用端末の技能を向上させるために『ICT 週間』を作る。また、デジタルドリル、スクールライフノート（「心の天気」「連絡帳」）の実践状況を校内で定期的に共有する。		
取組内容②（基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり） ゆとりの日や学校閉庁日の設定、学校行事実施時間の短縮などにより、働き方改革を推進する。		

指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を月に5回設定する。 ・学校閉庁日については、夏季・冬季休業期間中を合わせて8日以上設定する。 	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】	読書指導、学校図書館の運営などを工夫して、読書への関心を高める。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が図書館に関心をもてるように、図書委員会で毎月おすすめの本を紹介したり学校司書が随時行事を行ったりする。 ・児童の要望に応じた購入図書の選定や図書室の環境整備を行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①	
取組内容②	
取組内容③	
今後の改善点	
取組内容①	
取組内容②	
取組内容③	